

(科目コード : 7000920145JJ)

【改訂】第16版(2014-04-18)

【科目】中国語

【科目分類】一般科目 【選択・必修の別】特別設定科 【学期・単位数】後期・2単位

【対象学科・専攻】電子情報 5年

【担当教員】謝 志海

【授業目標】

中国語の基礎知識(発音、文法)を習得することができる。

初級程度の会話力を身につけることができる。

教科書の表現や構文を使って、応用的な中国語のコミュニケーションができる。

中国語の単語の発音、応用会話等を、教科書本文の朗読CDを聞きながら自らも発音できるようにする。

【教育方針・授業概要】

本科目の総授業時間数60時間である。

- ・発音、基本文法についてテキスト中心に解説。
- ・会話の基本表現を学ぶ。
- ・グループ分けて、学生同士の間で中国語の応用会話の練習。
- ・テキストに関連した中国の生活・習慣・文化について解説。

【教科書・教材・参考書等】

教科書:しゃべっていいとも中国語トータル版:陳 淑梅、劉 光赤 :朝日出版社:978-4-255-45238-8 c1087

【授業形式・視聴覚・機器等の活用】

講義形式であるが、学生に発音・会話練習をさせる。CDプレーヤーを使って、ヒアリングの練習させる。

【メッセージ】

教科書やCDを活かして、予習・復習をしっかりと、授業を積極的に参加してもらって、基本的な中国語の会話能力を養って行く。

【事前に行う準備学習】

教科書の予習

【成績評価方法】

[後期]中間試験:40%,期末試験:40%,レポート:20%

【達成目標】

	達成目標	割合	評価方法
1	中国語の発音	30 %	中間、期末試験、小テスト
2	中国語の基本文法	30 %	中間、期末試験、小テスト
3	中国語の応用会話	40 %	中間、期末試験、小テスト

【本校の学習・教育目標】

(A-1) 人文社会系の科目の学習を通じて、人間文化と社会生活について理解する。

【授業計画】(中国語)

回数	授業の主題	内容	レポート	宿題
第1~2回	文法と会話応用	時刻の言い方、動詞、形容詞、名詞述語文、関連会話練習		
第3~4回	文法と会話応用	時間の長さの言い方、動作行為の完了を表す助詞、関連会話練習		
第5~7回	前置詞、助動詞と会話応用	動作の対象を表す前置詞、助動詞、許可を求める言い方、関連会話練習		
第8~10回	動作進行、可能態、初級会話	動作行為の進行を表す表現、可能を表す助動詞、関連会話練習		
第11~13回	二重目的語、初級会話	二重目的語をとる動詞、小短文の読む練習、関連会話練習		
第14~16回	経験態、選択文、初級会話	経験を表す助詞、選択疑問文、関連会話練習		
第17~19回	必要態、条件文、初級会話	必要を表す助動詞、条件を表す構文、関連会話練習		
第20~22回	結果補語、様態補語、会話応用	結果補語、様態補語、関連会話練習		
第23~25回	比較表現、方向補語、会話応用	比較表現の前置詞、方向補語、副詞、数量詞、関連会話練習		
第26~28回	方向、程度、可能補語、会話応用	複合方向補語、程度補語、可能補語、関連会話練習		
第29-30回	主述述語、受け身表現、使役表現、会話応用	主述述語、受け身表現、使役表現、関連会話練習		